

開講年度・学期	2017年度・後期	授業形態	演習
科目名	専門演習（国際私法特別2）	科目ナンバー	JASEM3304
英語表記	Seminar on Private International Law 2	担当教員	国友 明彦
単位数	2		
科目の主題 国際財産法（国際民事手続法を含む）の諸問題			
授業の到達目標 具体的事案から生じる国際私法（国際民事手続法を含む）問題について解決できる能力を養う。			
授業内容・授業計画 <p>1. テーマの選び方 特定の問題に限定せず、参加者それぞれの関心に応じてそれぞれのテーマを決めてもらう。大きなテーマを選んでそれについて何回かに分けて報告してもよいし、1回ごとに異なるテーマでもかまわない。テーマの決定にあたっては報告者の希望を尊重する。すなわち、テーマの候補を挙げたプリントを配布するので、それを参考にして選んでもらう。テーマは、狭義の国際私法の各論の財産法分野、財産関係事件に関する国際民事手続法、から選んでいただく。希望により、家族法分野、国籍法を取り上げてよい。そのほか、特に希望があれば、国際取引法（私法系）のうち、売買、運送、支払に関する問題を取り上げてよい。</p> <p>2. 授業の進め方 国際私法の学習が初めての人がいれば、最初の2回程度は国際私法入門を講義形式で行なう。</p> <p>その後、下記の判例集や演習書などからテーマを選んで報告していただくが、テーマが決まれば、私が原則としてテーマごとにあらかじめ参考文献案内のプリントを作成・配布する。希望と必要に応じて報告の前に各テーマに関する入門のための講義を行なってもいい。当日は、報告者の報告ののち、質疑・議論を行なう。</p>			
事前・事後学習の内容 事前に、個別テーマごとの文献案内を参照し、参考文献を読んできて、報告テーマまたは問題について考えてくること。また、（必要に応じて）民法・国際私法等の教科書の関連箇所を読んでくることが求められる。			
評価方法 報告と議論の参加状況による。			
受講生へのコメント 民法の基礎を理解できていることが必要である。特に民法第1部、第4部を履修していることが望ましい。まだであれば並行して履修すること。			
教材入門書：入門書： 神前禎(かなぎき・ただし)『ブレップ国際私法』(2015, 弘文堂) 概説書(教科書)： 澤木敬郎=道垣内(どうがうち)正人『国際私法入門[第7版]』(2012, 有斐閣双書)、神前=早川=元永『国際私法[第3版]』(2012, 有斐閣アルマ)、櫻田嘉章『国際私法[第6版]』(2012, 有斐閣Sシリーズ)、中西康ほか『国際私法』(2014, 有斐閣 Legal Quest)のうち1冊以上を用意すること。 判例集： 櫻田=道垣内編『国際私法判例百選<第2版>』(2012, 別冊ジュリスト 210号) 演習書： 櫻田=佐野=神前編・演習国際私法 Case30(2016, 有斐閣) 六法 (小型のものでよい)を持参するのを忘れないこと。			
その他 添付ファイル付きのe-mailを受信できることが望ましい。 質問は：e-mail: kunitomo@law.osaka-cu.ac.jp, 研究室 806号室、tel. 6605-2332 までどうぞ。			
履修可能最低年次 3年次生以上			